

調査の概要

この調査は、統計法に基づく指定統計第 15 号として実施されたものである。

1 調査の目的

児童、生徒及び幼児の発育状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の範囲

小学校、中学校、高等学校及び幼稚園のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下、「調査実施校」という。）である。

3 調査の周期・期日

(1) 周期：昭和 23 年度から毎年実施

(2) 期日：平成 19 年 4 月 1 日から 6 月 30 日までの間に実施された、学校保健法による健康診断の結果に基づき調査

4 調査の対象

(1) 小学校・中学校

調査実施校に指定された学校の児童・生徒の一部
中学校には中等教育学校の前期課程を含む。

(2) 高等学校

調査実施校に指定された学校の生徒の一部
中等教育学校の後期課程を含む。

ただし、次に掲げる生徒は調査対象者から除く。

ア 全日制課程及び定時制課程に在籍する満 18 歳以上（平成 19 年 4 月 1 日現在の満年齢）の生徒

イ 通信制課程の生徒

(3) 幼稚園

調査実施校に指定された幼稚園の 5 歳児（平成 19 年 4 月 1 日現在の満年齢）の一部

(4) 学校種類別調査実施校数等（抽出調査）

区 分	調査実施校数	調査対象者数	抽出率
小 学 校	65 校	6,239 人	1.4 %
中 学 校	45 校	5,327 人	2.5 %
高 等 学 校	40 校	3,434 人	1.8 %
幼 稚 園	45 園	1,959 人	5.6 %
合 計	195 校(園)	16,959 人	1.9 %

5 調査事項

児童、生徒及び幼児の発育状態（身長、体重及び座高）

調査結果の概要

1 身長・体重・座高の平均値

(1) 身長(第2表・P10、第3表・P12)

男女ともにここ10年横ばい傾向

ア 男子

(ア) 前年度と比べると、8歳、10歳、11歳、14歳、15歳及び16歳で増加している。

(イ) 14歳を除く各年齢で全国平均値を下回っている。

イ 女子

(ア) 前年度と比べると、9歳及び16歳を除く各年齢で増加している。

(イ) 17歳は過去最高となった。

(ウ) 7歳及び15歳を除く各年齢で全国平均値を下回っている。

(2) 体重(第2表・P10、第3表・P12)

男女ともにここ10年横ばい傾向

ア 男子

(ア) 前年度と比べると、8歳及び16歳で増加している。

(イ) すべての年齢で全国平均値を下回っている。

イ 女子

(ア) 前年度と比べると、5歳及び8歳で増加している。

(イ) すべての年齢で全国平均値を下回っている。

(3) 座高(第2表・P11、第3表・P12)

男女ともにここ10年ほぼ横ばい傾向

ア 男子

(ア) 前年度と比べると、5歳、8歳、10歳、15歳、16歳及び17歳で増加している。

(イ) 15歳及び16歳で過去最高となった。

(ウ) 8歳及び14歳を除く各年齢で全国平均値を下回っている。

イ 女子

(ア) 前年度と比べると、5歳、6歳、8歳、10歳、15歳及び17歳で増加している。

(イ) 15歳及び17歳は過去最高となった。

(ウ) 5歳、6歳、7歳及び14歳を除く各年齢で全国平均値を下回っている。

(4) 年齢間の比較(表1)

身長は男子では12歳から13歳、女子では9歳から10歳が最大

各年齢間の差を比較すると、男子は身長及び座高の12歳と13歳の間、体重の13歳と14歳の間が最も大きく、それぞれ7.4cm、3.8cm及び5.9kgとなっている。

女子は身長及び座高の9歳と10歳の間、体重の11歳と12歳の間が最も大きく、それぞれ7.1cm、3.3cm及び5.4kgとなっている。

表1 身長・体重・座高の平均値の年齢差

単位：cm、kg

区 分	年齢	男 子			女 子		
		身長	体重	座高	身長	体重	座高
幼稚園	5歳	-	-	-	-	-	-
小学校	6歳	5.4	2.2	2.7	5.7	2.1	2.9
	7歳	6.0	2.7	2.8	6.0	2.7	2.8
	8歳	6.3	3.5	3.0	5.6	2.7	2.6
	9歳	4.6	2.9	1.9	5.4	3.2	2.6
	10歳	6.0	3.7	2.6	7.1	4.0	3.3
	11歳	6.0	4.1	2.7	6.4	4.8	3.2
中学校	12歳	7.2	5.5	3.4	5.7	5.4	3.0
	13歳	7.4	5.3	3.8	2.8	3.5	1.7
	14歳	5.8	5.9	3.2	1.9	3.0	1.2
高等学校	15歳	3.1	3.7	2.0	0.8	1.1	0.3
	16歳	1.6	3.2	1.0	0.2	1.0	0.1
	17歳	0.2	1.1	0.5	0.4	0.7	0.3

注) 網掛けの濃い部分は最大値、薄い部分は最小値を示す。

(5) 男女の比較(図1、表2)

身長、体重及び座高ともに11歳では女子が男子を上回る

男子と女子を比較すると、身長は10歳及び11歳で、体重は11歳及び12歳で、座高は9歳から12歳で女子が男子を上回っている。

図1 年齢別・男女別の平均値

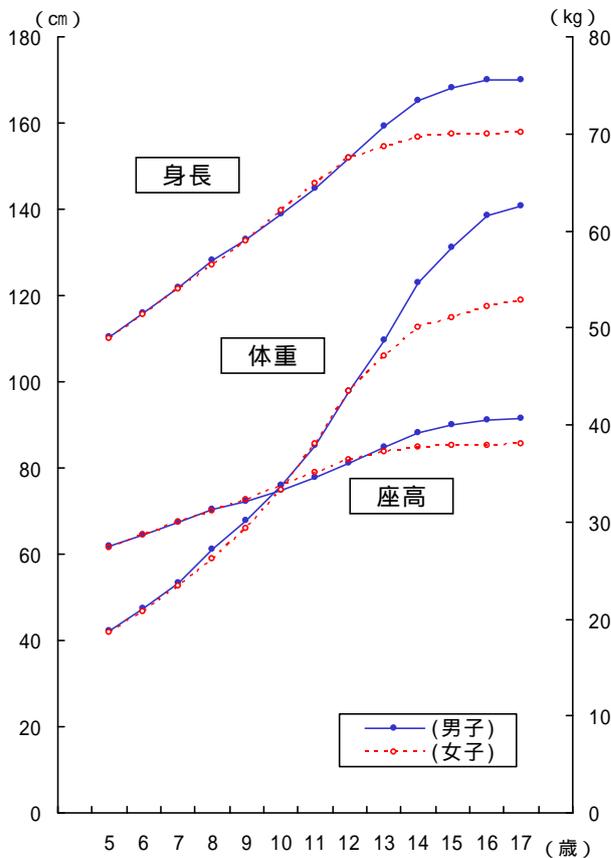


表2 身長・体重・座高の平均値の男女差

単位：cm、kg

区 分	年齢	身長	体重	座高
幼稚園	5歳	0.6	0.2	0.3
小学校	6歳	0.3	0.3	0.1
	7歳	0.3	0.3	0.1
	8歳	1.0	1.1	0.5
	9歳	0.2	0.8	0.2
	10歳	0.9	0.5	0.9
	11歳	1.3	0.2	1.4
中学校	12歳	0.2	0.1	1.0
	13歳	4.8	1.7	1.1
	14歳	8.7	4.6	3.1
高等学校	15歳	11.0	7.2	4.8
	16歳	12.4	9.4	5.7
	17歳	12.2	9.8	5.9

注) 男子の数値から女子の数値を引いたものであり、網掛けの部分は、女子が男子を上回っていることを示す。

2 17歳（高等学校3年生）の年間発育量の比較

(1) 身長（図2、表3）

女子の最大発育量の時期は男子に比べ2歳早い

今年度の17歳（平成元年度生まれ）の年間発育量をみると、男子は11歳から12歳時に大きくなっており、11歳時に最大の発育量となっている。女子は9歳から10歳時に発育量が大きくなっており、9歳時に最大となっている。最大発育量を示す年齢は、男子に比べて女子が2歳早くなっている。

また、親の世代の17歳（昭和34年度生まれ）と比較すると、男子は発育量が最大となる時期は親の世代より1歳早い11歳時となっており、5歳から7歳及び9歳から11歳の各歳時で親の世代を上回っている。女子は発育量が最大となる時期は親の世代と同じ9歳時となっており、5歳、7歳から10歳及び15歳の各歳時で親の世代を上回っている。

図2 平成元年度生まれと昭和34年度生まれの者の年間発育量の比較（身長）

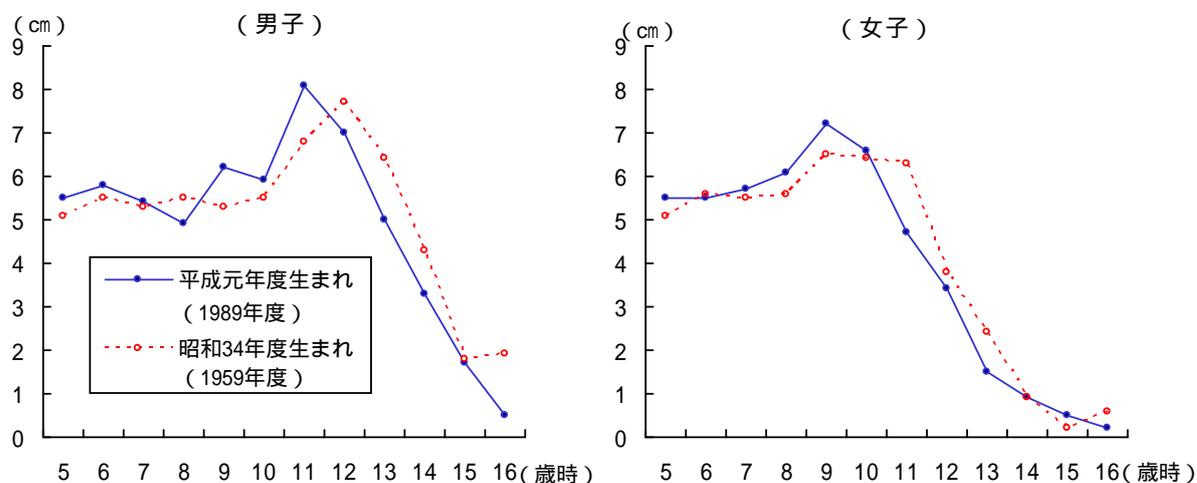


表3 平成元年度生まれと昭和34年度生まれの者の年間発育量の比較（身長）

単位：cm

区分	男子					女子					
	平成元年度 生まれ (A)	年間 発育量	昭和34年度 生まれ (B)	年間 発育量	世代間差 (A)-(B)	平成元年度 生まれ (A)	年間 発育量	昭和34年度 生まれ (B)	年間 発育量	世代間差 (A)-(B)	
総発育量	59.3		61.1			47.8		48.9			
幼稚園	5歳時	110.8	5.5	108.4	5.1	2.4	110.1	5.5	107.4	5.1	2.7
小学校	6歳時	116.3	5.8	113.5	5.5	2.8	115.6	5.5	112.5	5.6	3.1
	7歳時	122.1	5.4	119.0	5.3	3.1	121.1	5.7	118.1	5.5	3.0
	8歳時	127.5	4.9	124.3	5.5	3.2	126.8	6.1	123.6	5.6	3.2
	9歳時	132.4	6.2	129.8	5.3	2.6	132.9	7.2	129.2	6.5	3.7
	10歳時	138.6	5.9	135.1	5.5	3.5	140.1	6.6	135.7	6.4	4.4
中学校	11歳時	144.5	8.1	140.6	6.8	3.9	146.7	4.7	142.1	6.3	4.6
	12歳時	152.6	7.0	147.4	7.7	5.2	151.4	3.4	148.4	3.8	3.0
	13歳時	159.6	5.0	155.1	6.4	4.5	154.8	1.5	152.2	2.4	2.6
高等学校	14歳時	164.6	3.3	161.5	4.3	3.1	156.3	0.9	154.6	0.9	1.7
	15歳時	167.9	1.7	165.8	1.8	2.1	157.2	0.5	155.5	0.2	1.7
	16歳時	169.6	0.5	167.6	1.9	2.0	157.7	0.2	155.7	0.6	2.0
	17歳時	170.1	-	169.5	-	0.6	157.9	-	156.3	-	1.6

注) 1 年間発育量とは、例えば平成元年度まれの「5歳時」の身長の年間発育量を算出する場合、平成8年度調査の6歳の者の身長平均値から平成7年度調査の5歳の者の身長平均値を引いたものである。表4について同じ。

2 昭和34年度生まれの10歳時及び11歳時の数値は、都道府県別集計が行われなかったため、全国平均値を掲載した。表4について同じ。

3 網掛けの部分は、最大の年間発育量及び世代間差を示す。表4について同じ。

(2) 体重 (図3、表4)

女子の最大発育量の時期は男子に比べ1歳早い

17歳(平成元年度生まれ)の年間発育量をみると、男子は11歳から14歳時に大きくなっており、11歳時に最大の発育量となっている。女子は10歳から11歳時に大きくなっており、10歳時に最大の発育量となっている。最大発育量を示す年齢は、男子に比べて女子が1歳早くなっている。

また、親の世代と比較すると、男子は発育量が最大となる時期は親の世代より1歳早い11歳となっており、5歳から11歳、13歳及び16歳の各歳時の発育量は親の世代を上回っている。女子も発育量が最大となる時期は親の世代より1歳早く10歳となっており、5歳から10歳及び16歳時の発育量は親の世代を上回っている。

図3 平成元年度生まれと昭和34年度生まれの者の年間発育量の比較(体重)

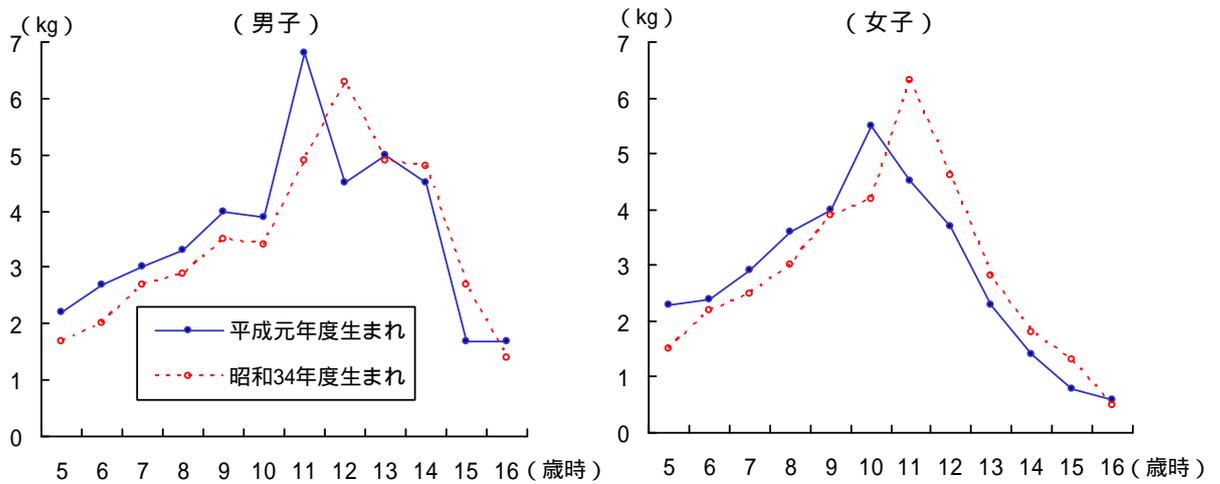


表4 平成元年度生まれと昭和34年度生まれの者の年間発育量の比較(体重)

単位: kg

区分	男子					女子					
	平成元年度生まれ (A)	年間発育量	昭和34年度生まれ (B)	年間発育量	世代間差 (A)-(B)	平成元年度生まれ (A)	年間発育量	昭和34年度生まれ (B)	年間発育量	世代間差 (A)-(B)	
総発育量	43.3		41.2			34.0		34.6			
幼稚園	5歳時	19.3	2.2	17.9	1.7	1.4	18.8	2.3	17.5	1.5	1.3
小学校	6歳時	21.5	2.7	19.6	2.0	1.9	21.1	2.4	19.0	2.2	2.1
	7歳時	24.2	3.0	21.6	2.7	2.6	23.5	2.9	21.2	2.5	2.3
	8歳時	27.2	3.3	24.3	2.9	2.9	26.4	3.6	23.7	3.0	2.7
	9歳時	30.5	4.0	27.2	3.5	3.3	30.0	4.0	26.7	3.9	3.3
	10歳時	34.5	3.9	30.7	3.4	3.8	34.0	5.5	30.6	4.2	3.4
中学校	11歳時	38.4	6.8	34.1	4.9	4.3	39.5	4.5	34.8	6.3	4.7
	12歳時	45.2	4.5	39.0	6.3	6.2	44.0	3.7	41.1	4.6	2.9
	13歳時	49.7	5.0	45.3	4.9	4.4	47.7	2.3	45.7	2.8	2.0
高等学校	14歳時	54.7	4.5	50.2	4.8	4.5	50.0	1.4	48.5	1.8	1.5
	15歳時	59.2	1.7	55.0	2.7	4.2	51.4	0.8	50.3	1.3	1.1
	16歳時	60.9	1.7	57.7	1.4	3.2	52.2	0.6	51.6	0.5	0.6
	17歳時	62.6	-	59.1	-	3.5	52.8	-	52.1	-	0.7

3 30年前との比較

(1) 身長・体重・座高の平均値 (図4、図5、図6、第4表・P13)

身長差は男子では12歳、女子では10歳及び12歳が最大

平成19年度の平均値を30年前の昭和52年度と比較すると、男子は、身長差は12歳(3.1cm)、体重差は14歳(4.0kg)、座高差は12歳及び13歳(1.7cm)が最も大きな開きを示している。女子は、身長差は10歳及び12歳(2.5cm)、体重差は12歳(2.6kg)、座高差は10歳(1.3cm)が最も大きな開きを示している。

図4 身長の平均値 30年前との比較

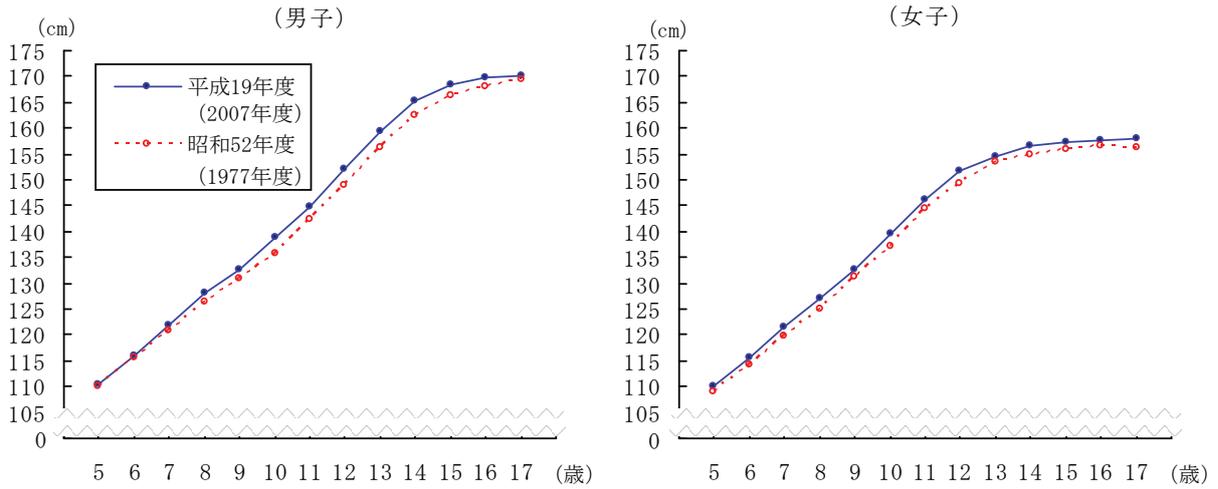


図5 体重の平均値 30年前との比較

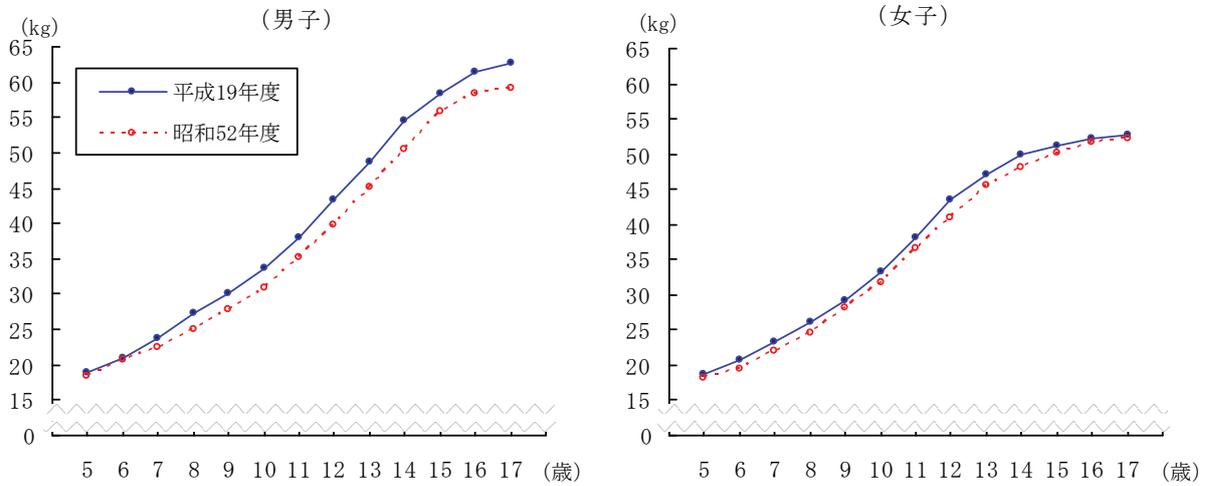
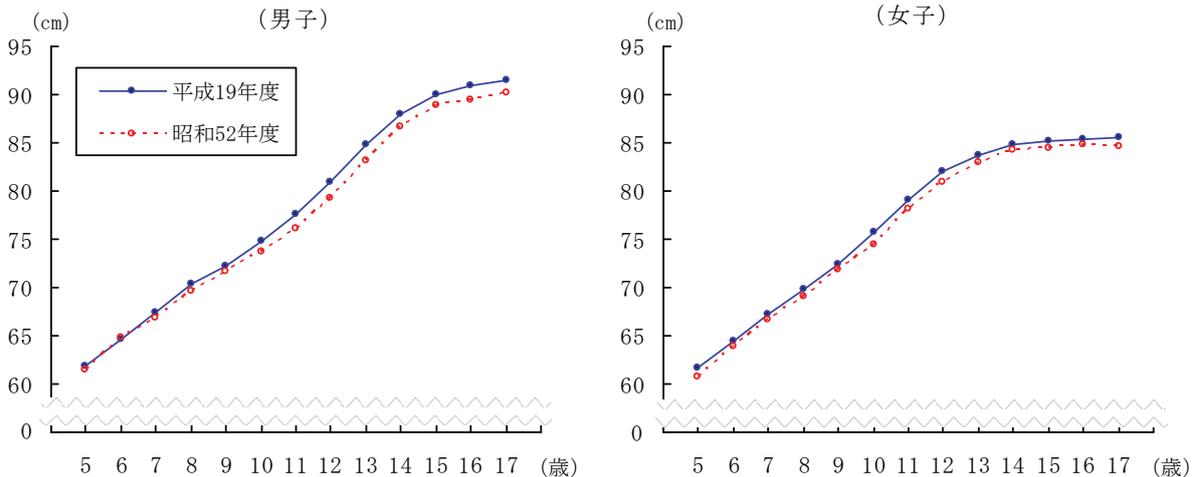


図5 座高の平均値 30年前との比較



(2) 身長に占める足の長さの割合(表5)

高等学校男子は全学年で30年前より足の長さの割合が小さい

身長に占める足の長さの割合について比較すると、男子は5歳、11歳から13歳及び15歳から17歳、女子は5歳、11歳、13歳、15歳及び17歳がそれぞれ30年前より割合が小さくなっている。

なお、高等学校の生徒についてみると、男子は全学年で30年前より割合が小さくなっている。

表5 身長に占める足の長さの割合 30年前との比較

単位：%

区分	年齢	男子			女子		
		平成19年度 (A)	昭和52年度 (B)	差 (A)-(B)	平成19年度 (A)	昭和52年度 (B)	差 (A)-(B)
幼稚園	5歳	44.0	44.2	0.2	43.9	44.3	0.3
小学校	6歳	44.3	43.9	0.4	44.2	44.0	0.2
	7歳	44.7	44.7	0.1	44.7	44.4	0.2
	8歳	45.1	44.9	0.2	45.0	44.8	0.3
	9歳	45.6	45.3	0.2	45.3	45.3	0.0
	10歳	46.0	45.7	0.3	45.7	45.7	0.0
	11歳	46.4	46.4	0.0	45.9	46.0	0.0
中学校	12歳	46.7	46.7	0.0	46.0	45.8	0.2
	13歳	46.8	46.9	0.1	45.9	45.9	0.1
	14歳	46.7	46.7	0.0	45.8	45.6	0.2
高等学校	15歳	46.5	46.6	0.1	45.8	45.9	0.1
	16歳	46.4	46.8	0.4	45.8	45.8	0.1
	17歳	46.2	46.8	0.6	45.8	45.8	0.0

注) 1 身長に占める足の長さの割合 = (身長 - 座高) / 身長

2 数値は小数点以下第2位を四捨五入しており、表中の(A)と(B)の差と「差(A)-(B)」の数値が一致しない場合がある。